ふじやまだより

第39号
発行 2006年
3月15日
本郷
ふじやま公園
運営委員会

ホームページ http://www.k5.dion.ne.jp/~h_fuji_p

祝福されて開園三周年

本郷ふじやま公園は栄区民を始めとして近隣のひとたちに愛されて、2月15日で開園3周年を迎えました。この日は多くのお客さまを迎えて記念の式典が行なわれました。

「さわってごらん。」

「いらっしゃいませ!」

くすだまを割って開園三周年を祝いました。

珍しくなった獅子舞とユーモラスなヒョットコのおどりです。

「うわー、いい調子」

開園3周年によせて　　栄区長　吉久保　英雄

本郷ふじやま公園古民家ゾーンが開園して3周年を迎えました。この間、6万5千人を超える区民・市民の方々にご来園いただきました。これはひとえに運営委員会、事業部会のスタッフの方々のご努力の賜と思います。厚く御礼申しあげます。

この公園は、計画段階から開園後の管理・運営まで地域の方々を中心とした大勢のボランティアの方々にご参加いただいており、横浜市の行政運営のキーワードである「協働」の代表例と言えます。関係される方々にはこれまでさまざまなご苦労やご心配もあったこととは思いますが、このように魅力あふれる公園として大変多くの方々に親しまれるようになったことは、区民と行政、あるいは区民相互のパートナーシップのモデルとして、今後様々な事業に活かされていくことと思います。

これからもこの公園が、古民家を中心にふるさと栄区のシンボルとして多くの方に親しまれ、参加できる公園としてコミュニティの拠点となることを願っております。

開園3周年に寄せて　　栄土木事務所長　森　公司

開園3周年おめでとうございます。平成15年2月の開園以来、本郷ふじやま公園運営委員会の皆様方には、古民家を中心として、公園を利用した多彩な活動を展開されてこられましたことに敬意を表します。

公園内での活動を通して、多くの利用者に楽しんでいただける場として、本公園は区内の公園の中でも際だった存在であるとともに、区の魅力向上にも非常に寄与しているものと考えております。

平成17年度の環境創造局発足とともに、身近な公園の管理が各区の土木事務所に移管されました。これを機に、栄土木事務所としましても、本郷ふじやま公園が古民家とともに一層親しまれるような維持管理、環境整備に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

開園３周年を迎えて　　環境創造局南部公園緑地事務所長　江口　正隆

日ごろから公園を利用される市民の皆さまにおかれましては、公園行政の推進にご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。早いもので本郷ふじやま公園古民家ゾーンも開園３周年を迎えることになりました。

この間、公園の管理運営を行ってきた運営委員会、運営委員会を支えてこられたボランティアの皆さん、公園に来園される多数の方々のおかげで、豊かな自然の中で地域の歴史や伝統文化の体験のできる公園として、市民の皆さまに親しまれるようになりました。さて、横浜市では本年度、この公園で現在行われているような、市民の皆さまと共によりよい環境を創り出すという理念に基づき、水と緑を一体化した環境行政を行えるよう、環境創造局という局を創設いたしました。

今後とも皆さま方と共によりよい環境を創り出す活動を進めて行くため努力してまいります、これからも一層のご支援とご協力をお願いいたします。

昔のくらしを学ぶ

本郷ふじやま公園運営委員会　副会長　北條祐勝

ふじやま及び小岩井家古民家公園は開設三周年をむかえました。その間、行政はもとより地域社会のあたたかい支援と、運営スタッフの大きな努力により種々の行事や研修等が実施され、すくなからず成果をあげられました。

本郷という地域は江戸末期には山之内庄本郷六村と言われ、明治二十二年に鎌倉郡本郷村となり、昭和十三年から小菅ヶ谷・桂・公田・笠間の一部が買収され、耕地の中心に第一海軍燃料廠が稼動しはじめ、昭和十四年四月一日に横浜市に編入されて戸塚区となりましたが、昔の農山村の風景には変化はありませんでした。十五年戦争から戦後にかけて、山林の乱伐と農地開墾がありましたが、昭和四十年代の高度成長による開発と住宅建築が進む中で、多くの里山や古民家が消え、地域社会の特色や歴史的遺物等が消滅し、昔の地域の姿が殆ど失われました。そのような中で、ふじやま公園の里山と小岩井旧宅の古民家によって、昔の村の姿が復原され、村の自然や機能を見ることができ、昔からの人間社会のあり方を学ぶことができるのは、きわめて大切なことです。今後とも昔の人々の智恵を学び、多くの市民とスタッフやボランティア人達と努力をかさねてゆきます。

人は火を見るとしゃべりたくなる

いろり守の会　松木義文

易六十八掛の中に『離爲火』という卦があります。火は離れると為すと読みます。ついたり離れたり、この火を眺めるのはいろり守りの一つの楽しみです。

『人は火を見るとしゃべりたくなる』といわれます。いろり端でいろんな人の話を聞くのはいろり守りの一つの楽しみです。ためになります。

来園される方は大抵『ああ懐かしいにおいだなあ！』といいながら土間に入って来られます。嗅覚は最も本能に近い感覚といわれます。薪を燃す臭いをかぐのはいろり守りの一つの楽しみです。しみじみと落ち着きます。

昔の暮らし，ふる里の体験ができるようにするというのが公園の六つのねらいの一つです。いろり端で芋や魚を焼いたりすることができるようになれば、いろり守りの楽しみがまた一つ増えるでしょう。

新会員随時募集中

農芸部会の活動〈活動への参加のお誘い〉

農芸部会　遠山 隆

かっての日本の民家〈農家〉は地域と調和し、美しい景観を形成していました。農はその茅葺農家の囲炉裏と共に人の暮らしの原点であり、よい環境の循環システムでした。今では都会人にとっての癒し・潤い・憩いの空間であり、先人の知恵を体験する場でもあります。私たち農芸部会はそこで仲間と、来園される市民の方々と素晴らしい出会いを持ち、他の事業部会と係わり合いながら次のような活動をしています。

1. 四季折々の行事に使われる野菜、シイタケなどの栽培。中でも秋の収穫祭は農園あげてのものです。
2. 古来からの花、以前は農家の庭先に見られた懐かしい花、山野草、茶花などの栽培。これらは古民家の屋内にも生けられます。
3. 堆肥づくりをしながらカブトムシの幼虫を育て、観察し、子どもたちとの遊びも企画。

眼前に古民家を望み自然と向き合いながら楽しく、市民に愛される、往時の原風景を思い起こさせる公園づくりに皆さまと共に活動してまいりたいと思います。

是非活動にご参加ください。お待ちしております。

部会定例活動

定例作業：毎週月曜日と木曜日　10:00～12:00

定例会議：毎月第三木曜日　　10:00～12:00

里山部会のこの3年間

里山部会　宗森英夫

里山部会は、対象が山林であるため、開園前から活動が始められ、炭焼は4年間の実績があり、筍堀イベントは今春で7回目を迎える。

樹林エリアの手入れは、竹林の整備から始められた。当初は長年放置されていたため、100㎡に120～140本位の竹が密集していた。適正密度は100㎡に60本前後といわれているので、倍以上の密度であった。一度に大量に間伐すると、竹林が弱るので、1年目に100本にし、2年目に80本、3年目に60本というように徐徐に減らして行く。その間、毎年、新しく筍が生えてくるので、適正密度にするには、4，5年かかる。従って、現在、適正密度に達した所はまだない。数年後には公園内の全ての竹林が適正密度になる予定だ。

杉林、コナラ林等の整備はこれからで、下草刈りだけでもかなりの労力を必要とする。里山の手入れに関心のある方は積極的に参加していただきたい。よろしくお願いいたします。

工作棟部会の活動紹介

工作棟部会　松木義文

公園内の工作棟では、次に紹介するような体験教室がボランティアの講師により開講されています。

●**里山のそば打ち塾**／家庭で出来るそば作り、公園内で販売できるそば打ちが目標です。
●**染色**／草・花・木など自然の恵みでやさしい色に染めます。
● **刺し子**／一針一針刺しながらできた作品を見て手作りの良さを分かち合い次への楽しみにつなげます。
● **創作人形＆粘土工芸**／無から有へと手作りならではの味わいのある作品作りが楽しめます。
●**銀アート**／銀粘土を焼成して素敵なアクセサリーを作ります。
●**布ぞうり**／木綿でぞうりを編み履いてみましょう。とても気持が良いです。
●**造形遊び**／身近な素材を使って小さなインテリアを作り楽しく遊びましょう。
●**木版画＆植物画**／初心者から受講することができ、趣味の領域を広げることができます。
●**布細工**／和の布を使って四季折々の心が和らぐ小物を作ります。
●**伝統工芸鎌倉彫を彫る**／集中した時間で『世界でただ一つの器』を作る楽しみと使う喜びを味わいましょう。
●**ちぎり絵**／風景・花等、ちぎった和紙独特の温もりが絵に優しさを添えます。
●**遊布**／布とたわむれる安らぎを皆さんと味わっています。古布で小物を製作します。
●**作って遊ぼう子ども工作**／名人達人に学ぶ物作りの楽しさがいっぱい『君は何を作ってみたい？』

物作り手作りを通じて工作棟が市民交流の場として有効に活用されるよう皆様のご参加をお待ちしております。

「クリーンアップ」活動の三年を振り返って

相沢 志万子

近隣の有志数名が自主的に立ちあげた主屋の清掃。今では登録会員２３名の「クリーンアップ」グループのメンバーが、毎月、第１第３火曜日の１０時に集まって、クリーンアップ作業に精を出しています。

最初からの熱心なボランテイアに新しいメンバーも加わって、常時10数名が座敷、内蔵、たたき土間、外回りなど、約1時間、手際よくきれいにしています。殊に大黒柱、板戸、茶の間の床は、昔ながらに糠袋で磨いています。効果は微々たるものですが、この頃では続けて来た甲斐あって艶が出て来たように思います。

昔の家の温もりの中、四季折々の風を感じながらの作業や、おしゃべりはメンバーの心を和やかに、一つにしてくれる様です。

この絆をますます大切に、古民家の凛とした佇まいと”いつもきれいになっていますね”と言って下さる来園者の声を励みとして、長く楽しく続けたいと思います。

春です！！ クリーンアップへお出でになってみませんか！！　「会員募集中」

＜古民家歴史部会紹介と入会のお勧め＞

古民家歴史部会　　木島健司

地域の地理歴史風俗習慣年中行事古文書解読などを探求体験し、次世代に語り継ぐ活動をしています。主な活動は次のとおりです。

月例部会・古民家開設の勉強会・歴史探訪（昨年は栄地域、今年は金沢周辺）・初心者茶道体験教室・本郷のおんな達その生活と生涯研究。端午の節句・七夕・古文書研究会・古文書講座・古地図作成・月見・煤払い・障子はり、餅つき・正月飾り・鏡開き汁粉または七草粥・雛祭り・各種展示物の蒐集保管展示・小学生の課外学習見学の解説・来園者への解説などで昔の再現に努めます。

行事では子ども遊び・お茶会・各種演芸の開催・行事のお菓子などの廉価販売でお楽しみいただけるよう工夫しております。

当部会にボランティアとしてご入会賜り貴重な知識経験をご披露頂き、共に研究研鑽を重ねより広範に有意義な活動をいたしたいと念願しております。

皆様の参加を心より、お待ち申し上げております。　古民家歴史部会一同

広報部会の活動

広報部会　　田代眞治

本郷ふじやま公園は皆さんご承知のように横浜市の有形文化財である古民家と付随の工作棟および里山と農園などから構成されています。

古民家では四季の移ろいにしたがい昔懐かしい伝承行事が行われており工作棟では手作りを中心とした各種の体験教室が開催されています。 里山や農園では生き物の営みにあわせた作業が行われています。ボランティアのこれらの活動や来園の皆さんの声をなるべく多くの人々に公園の情報として発信したいと思って「ふじやまだより」とホームページ「本郷ふじやま公園」を制作、公開しています。「ふじやまだより」は公園と同じ三周年を迎えました。

ホームページは歩み始めたばかりです。

http://www.k5.dion.ne.jp/~h_fuji_p

それなりの評価をいただいていると自負していますが、これらの内容をより充実してすばらしい公園をより広く、より深く、お知らせしたいと思っています。

皆さんの感想を原稿として、あるいは制作において多くの人々のご協力をお願いいたします。

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください，お待ちしております

教室名	日時	内容	材料費	応募期限
作って遊ぼう ～子ども工作の日～	4月16日(日) 10時～12時 13時～15時	針金迷路又はやじろべい	無料	申し込み不要 当日受付： 10時～11時 13時～14時
粘土工芸 （全３回参加できる人）	4月28日(金) 5月12日(金) 5月26日(金) 13時～16時	ふくろうのポプリ入れ と ふくろうのブローチ	2000円	4月10日(月)
染色 (全２回)	5月16日(火) 6月20日(火) 13時～16時	玉葱の皮で黄色のストールと藍の生葉でスカーフ	１作品 2000円	4月30日(日)
里山のそば打ち塾（親子限定）	5月27日(土) 10時～13時	親子で楽しくそば打ちをして、美味しいそばを食べましょう	1400円	5月10日(水) {一家族２名}

(1) 持参品　：返信ハガキで連絡します。
(2) 定員　　：12名。応募者多数のときは抽選。
(3) 応募要領：往復ハガキに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号住所、電話番号を書いて応募期限までに**本郷ふじやま公園**へ

＊＊ ふじやま公園の山桜を愛でる花見会 ＊＊

日時　４月１５日(土)　10時～15時
内容 特設舞台でお囃子などの演芸・カスタネツトを作ったり・阿波おどりをおどったり。
(カツポ酒・花見団子・手打ちそば・ふじやま流野点。）―有料
花見弁当(1500円)も予約受付致します（4月5日まで公園事務所へ）
古民家では工作棟教室三周年の作品を展示しております。

＊＊　端午の節句祭り　＊＊

日時　４月１９日（水）～５月８日（月）
内容　期間中座敷に端午の節句人形を飾り、前庭に鯉幟を揚げ、お祝いをします。
ご家族でお出かけ下さい。入場無料
５月７日(日）は
11時30分から柏餅券を先着100名様に販売（300円）致します。
12時から13時に柏餅券を引替致します。
13時～15時　ボランティアによる演芸を予定しております。

５月７日(日)に演芸出演してくださるボランティアの方を募集しています。
４月１０日迄に下記　本郷ふじやま公園へ、電話・ＦＡＸでお申し込み下さい。

・開館時間：　９：００～１７：００　・入館料：無料
・休館日　：　４月５日（水）
・クリーンアップ作業：４月４日（火）、１８日（火）１０時～１１時

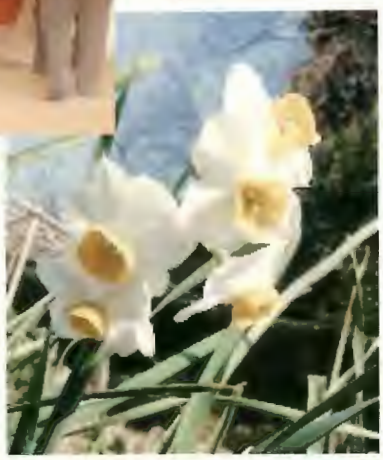
◆本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1－20 TEL:896-0590　FAX:896-0593
「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。

ご近所の人々とともに歩む古民家

●実施しているもの作り教室
植物画、木版画、布細工、刺し子、遊布、染色、粘土工芸
鎌倉彫、七宝、ちぎり絵、造形遊び、子ども工作の日、
竹細工、布草履、蕎麦打ち、茶道教室、創作人形

公園に寄って
雛飾りを見る
人たち

庭に咲いた水仙



■年間のイベント
お花見の会、筍掘り、端午の節句
七夕まつり、お月見の会、収穫祭
障子張、正月飾りと餅つき
七草粥とこども遊び、雛祭り、古文書研究、栄区歴史探訪、炭焼き
本郷のおんな達

☆古民家の主な収蔵物☆
鏡台、製麺器、氷かき、火伸し（昔のアイロン）、箱枕、バリカン、
洗濯板、あんか　〈農機具〉千歯扱（センバコキ）、鍬、さす、筵（ムシロ）
蓑（ミノ）、米俵　〈その他〉ふいご（鞴）、竜吐水、薬研

囲炉裏を囲んで四方山話が弾みます。

栄区の実家に里帰りした奥さんと
フランス人のご主人

ご近所の方々と
ボランティアが力
を合わせてお餅つ
き